

# ひと

「海外留学で子どもに生きる力を」と呼びかける

おお ば のりゆき  
大場 規之 さん(52)



海外留学したくない子ども。うちの子に留学なんて必要ないという親。そんな内向き思考を変えて、日本中の学習塾をたずね歩き、「ISCC留学net」というネットワークを築いてきた。いま加盟塾は47都道府県に計80拠点。相談からアフターケアまで留学のすべての世話をしてくれる。

受験失敗をひきずる親子に前を向かせたい、不登校の子をもつ親の悩みを解決したい。考えていたら、欧州での自分を思い出した。日本人ひとりぼっちには、胃薬を飲む忍耐の日々だった。でも、仕事も生活も自分で決断することで、生きる力がついた。留学も人生修行、柔道や剣道に通じる。迷える親子を留学道にいざなう仕事は、自分にしかできない。

浜松市の学習塾「和田塾」の社長。慶応大理工学部を出てベンチャーの雄、堀場製作所に入社。24歳のとき、片言の英語だけでフランスの田舎町に赴任し、4年あまり欧州で暮らす。その後、天職を探して、静岡県議、地元建設会社の役員もした。

6年まえ、病で死期を悟った学習塾の社長に、あとを託された。

拠点の目標は200カ所。高校留学で170万円から、と安くはないが、年間100人ほどが一年間の海外生活に旅立つ。親から、見違えるほどたくましくなった、との声があつまる。「留学道へいらっしゃい。人生、前向きに変わります」

文・写真 中島隆